

# 大阪湾再生行動計画(第二期) 平成26年度の取り組み成果 【概要版】

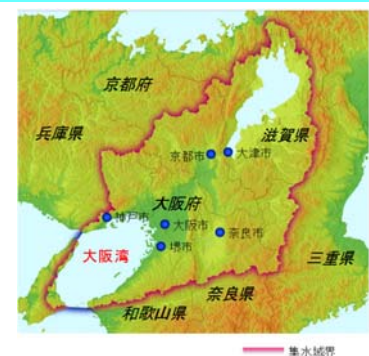
平成27年3月  
大阪湾再生推進会議

## 背景

### ①大阪湾の特性

- 2箇所の湾口(明石海峡(4km)、紀淡海峡(7km))を持つ閉鎖性の高い海域(海域面積:1,450km<sup>2</sup>、平均水深28m)
- 大きな人口・産業集積を有する集水域を抱える(集水面積11,200km<sup>2</sup>、人口1,746万人)

➡ 陸域から大量の汚濁負荷が流入するとともに、外海との海水交換が起こりにくいため、富栄養化による水質の悪化や、生物生息環境の悪化が生じやすい。



大阪湾とその集水域

### ②第一期計画の評価と課題

#### 【最終評価(総括)】

- 湾口部～湾央部は、水質改善が進んでいるが、栄養塩不足の声もあり。
- 湾奥部は、汚濁の改善がみられず、貧酸素状態もみられる。
- 施策の効果とみられる変化あり。(汚濁物質濃度の減少、再生された干潟等での生物生息など)
- 森・川・海の住民参画による取り組みへの参加者が増加するとともに、環境にふれあう場が拡大。



#### 【課題】

- (1) 多様な生物の生息・生育
  - 特に湾奥部において、底層DO改善のための取り組みの強力な推進が必要。
  - 生物の生息・生育場については、今後とも積極的な整備を進めていくことが望ましい。
- (2) 人と海との関わり
  - 特に湾奥部において、水質改善のための取り組みの推進が必要。
  - 親水活動の場については、今後とも積極的な整備の推進が望ましい。
  - 浮遊・漂着・海底ごみについても、今後とも積極的な取り組みの推進が望ましい。

# 大阪湾再生行動計画(第二期)の概要

## ①理念

- 大阪湾の環境の改善(多様な生物の生息・生育、人と海との関わりの増大)に向けて、多様な主体の連携・参画(空間ネットワーク及び人的ネットワークの充実・強化)により、森・川・里・都市・海等の取り組みの輪を広げ、効率的・効果的な取り組みの推進を図り、大阪湾の再生とともに新しい大阪湾の創出を目指す。

## ②意義

- (1)多様な生物の生息・生育(生物多様性、生産性の確保)
- (2)人と海との関わりの増大(人材の育成、生活の質の向上、観光資源の創出)
- (3)空間(森・川・里・都市・海等)ネットワーク及び人的(多様な主体、各世代のつながり)ネットワークの充実・強化

## ③目標

森・川・里・都市・海等のネットワークを通じて、美しく親しみやすい豊かな「魚庭(なにわ)の海」を回復し、市民が誇りうる「大阪湾」を創出する

## ④計画期間

- 平成26年度から平成35年度までの10年間

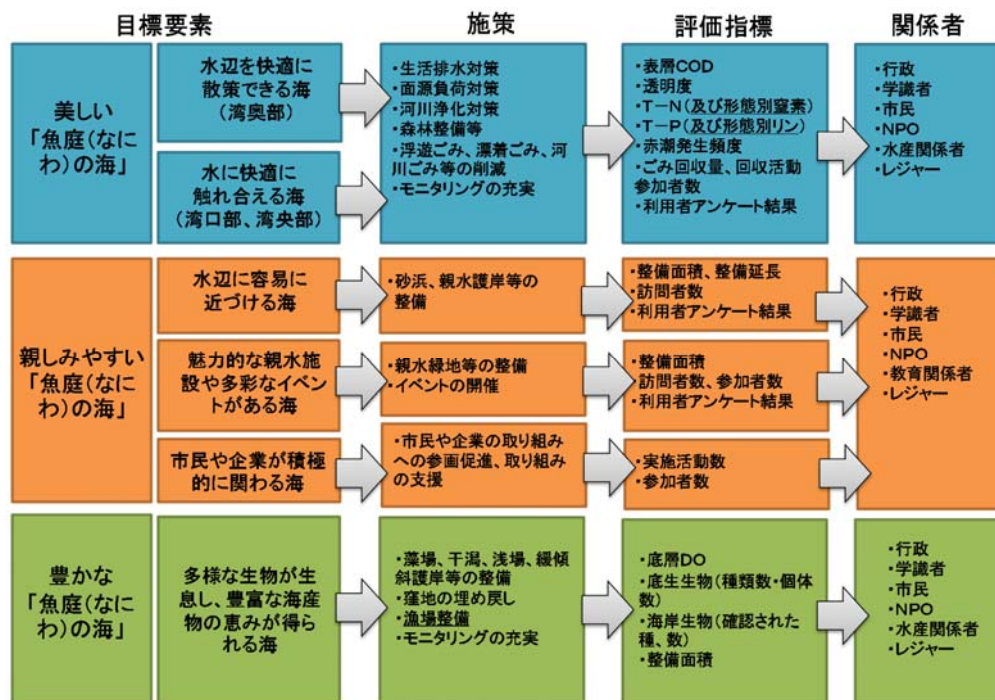
## ⑤取り組み体制

- 大阪湾再生推進会議において策定・推進する。
- 推進会議には幹事会を置き、幹事会にはワーキンググループ(陸域、海域、モニタリング、全体)を置く。

# 目標達成状況の評価について

## ⑥目標達成状況の評価について

- 目標を3つの目標要素に区分し、それぞれの目標要素を達成するための施策、施策の達成状況の評価するための評価指標、及び関係者を設定する。
- 目標達成状況は、評価指標の経年的な変化等で評価し、順応的に進捗状況を管理する。



※下線は第一期計画から追加された施策、評価指標

※下層DOは底層DOとして環境基準化を検討中であるため、名称変更する。

# I 目標達成状況

美しい「魚庭の海」に向けた  
取り組みの状況

## 美しい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況(まとめ) (その1)

### 取り組みの状況

#### 1. 生活排水対策

- 下水道の普及促進、高度処理化、農業集落排水事業等により、陸域から流入する汚濁負荷を削減。
  - ・下水道普及率: 86.7%(H16)→**93.7%**(H25)
  - ・高度処理普及率: 37.9%(H16)→**53.5%**(H25)

#### 2. 面源負荷対策

- 雨水幹線の整備等により、降雨時に流出する汚濁負荷を削減。

#### 3. 河川浄化対策

- 浄化浚渫等により、河川の浄化を実施。(琵琶湖内湖、寝屋川、平野川等)

#### 4. 森林整備等

- 行政や市民、企業等の参加による森林整備を実施。(面積: **約11,000ha**)

#### 5. 浮遊ごみ、漂着ごみ、河川ごみ等の削減

- 河川・海域で、行政や市民・企業等の参加によるごみ回収活動を実施。

#### 6. モニタリングの充実

- 大阪湾再生水質一斉調査等、水質・底質・ごみの量等の各種モニタリングを実施。



## 美しい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況(まとめ) (その2)

### 取り組みの評価結果

#### 1. 表層COD <5mg/L以下>※

- 湾奥部: 港湾区域周辺で夏季に概ね**5mg/L以上**。
- 湾口部～湾央部: 夏季に概ね**3mg/L以下**。

#### 2. 透明度

- 湾央～湾奥部: 夏季に概ね**2~3m程度**。
- 湾口部: 夏季に概ね**5m以上**。

#### 3. 窒素、4. リン

- 湾奥部: **減少傾向が大きい**。
- 湾口部～湾央部: **減少傾向**。

#### 5. 赤潮の発生状況

- 年間**11~29件**発生。(H16~25)
- 直近4年の漁業被害なし。

#### 6. ごみ回収量・回収活動参加者数

- ごみ回収量: **730.8t**
- ごみ回収活動参加者数: **57,766人**

※ <>内は評価指標値の目安

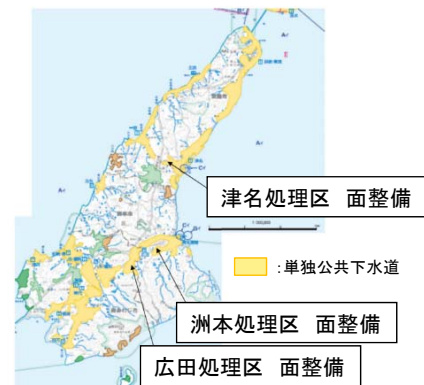


### 取り組みの成果

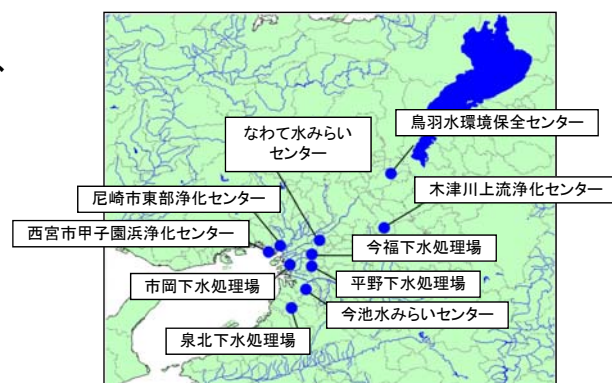
- 湾奥部の港湾区域周辺では、依然として快適な散策・展望に適さない水質の場所があり、今後とも取り組み推進が望まれる。一方で、窒素・リンは減少傾向がみられる等、水質には変化がみられる。
- 湾口部や湾央部では、水質が悪化する夏季においても、散策・展望の面からは概ね良好な水質を維持している。
- 特に海域において、積極的なごみ回収活動の実施が望まれる。

# 1. 生活排水対策(その1)

- 汚濁負荷量の総量削減を実施。
  - ・ 第7次総量削減計画を実施。[京都府、大阪府、奈良県、兵庫県]
  - ・ 第8次総量削減の在り方について中央環境審議会に諮問。[環境省]
- 下水道の普及促進を実施。(大和川下流域、南大阪湾岸流域、淡路地域等)  
[滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、兵庫県、堺市、神戸市等]
- 高度処理施設の整備及び既存処理場の高度処理化を実施。(泉北下水処理場での事業着手等)[滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、兵庫県、京都市、大阪市、堺市、神戸市等]
- 合流式下水道の改善を実施。[大阪府、京都市、大阪市]
- 農業集落排水事業を実施。(新設2地区、機能強化4地区)[近畿農政局、滋賀県、京都府、奈良県及び兵庫県の関係市町村]
- 流域住民の参加による負荷削減対策として大和川水質改善強化月間を実施。[大和川水環境協議会]



下水道の整備状況(淡路地域)

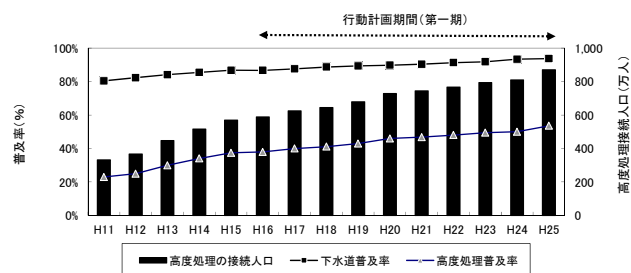


高度処理化等取り組み施設

# 1. 生活排水対策(その2)

## 【下水道事業】

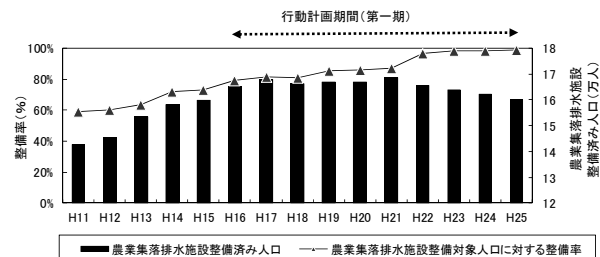
- 下水道普及率、高度処理普及率ともに順調に増加。
- 下水道普及率 :  
86.7% [H16] → 93.7% [H25]
- 高度処理普及率  
37.9% [H16] → 53.5% [H25]



※下水道普及率、高度処理普及率は大阪湾流域内人口に対する処理区域内人口の割合を示す。

## 【農業集落排水事業】

- 農業集落排水施設整備対象人口に対する整備率は9割以上を達成。
- 農業集落排水施設整備率  
79.4% [H16] → 98.9% [H25]



※農業集落排水施設整備対象人口に対する整備率は整備計画人口に対する整備済人口の割合を示す。



## 2. 面源負荷対策

- 雨水幹線の整備等により降雨時に流出する汚濁負荷の削減を実施。（**守山栗東雨水幹線整備事業**〔滋賀県等〕）
- 一般家庭等を対象とした**雨水貯留タンク普及促進のための助成制度**を運用。〔大津市、京都市、長岡京市、八幡市、木津川市、大山崎町、精華町、大阪市、堺市〕
- **農業濁水の発生抑制・流出防止**のため、チラシ、巡回による啓発活動、環境こだわり農産物の栽培面積の拡大等を継続実施。〔滋賀県〕



雨水幹線の整備場所



一般家庭等に設置する  
雨水貯留タンクのイメージ

## 3. 河川浄化対策

- **河川浄化施設**の維持管理、効率的な運用、モニタリング調査等を継続実施。〔近畿地方整備局、滋賀県、大阪府、奈良県〕
- **浄化浚渫、覆土工**及びモニタリング調査を継続実施。（**琵琶湖内湖（西の湖、木浜内湖）**〔滋賀県〕、**寝屋川、平野川**〔大阪府〕）



河川浄化浚渫の実施場所



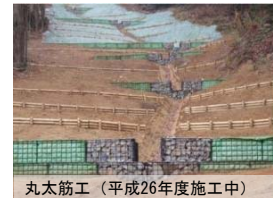
整備した河川浄化施設  
（大阪ふれあいの水辺づくり事業）



浄化浚渫の実施状況（西の湖）

## 4. 森林整備等

- 森林整備事業、治山事業等を実施。（新植、間伐、保安林指定等）〔近畿中国森林管理局、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、兵庫県〕
- 市民、NPO、企業等の参画・連携による森林整備を実施。（伊崎国有林、箕面国有林〔近畿中国森林管理局〕等）
- 森林ボランティア団体への支援を実施。（地域協議会の支援、アドプトフォレストへの参画推進等）〔滋賀県、京都府、大阪府、奈良県〕
- 公共工事での間伐材等の利用を実施。〔近畿中国森林管理局、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県〕



丸太筋工（平成26年度施工中）  
公共工事での間伐材の利用



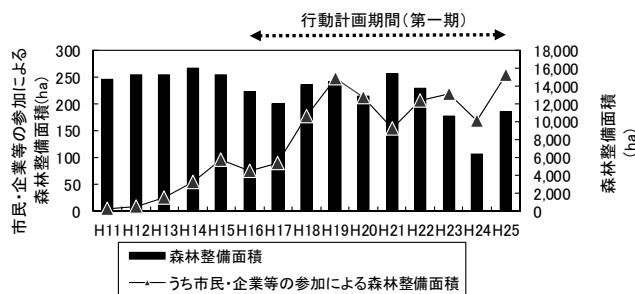
下刈作業の様子



植林（ヤマザクラほか）の様子

植樹箇所の下刈作業の様子  
（伊崎国有林）

オオクワガタの棲める森づくり  
保育作業の様子（箕面国有林）



市民、NPO、企業等の参画・連携による森林整備の実施場所

## 5. 浮遊ごみ、漂着ごみ、河川ごみ等の削減

- 市民・NPO・企業・行政が一体となった河川清掃活動を実施。（淀川水系、大和川水系等）〔近畿地方整備局、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、兵庫県等〕
- 海洋環境整備船による浮遊ごみ・油の回収を実施。〔近畿地方整備局〕
- 市民・企業等との連携による海岸美化活動を実施。（須磨海岸クリーン作戦〔瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会等〕、成ヶ島クリーン作戦〔近畿地方整備局、自治体〕、アドプト・シーサイド・プログラムによる清掃活動〔大阪府〕、リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動〔瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会〕、海岸美化活動〔堺市〕等）
- 流速計による潮流観測を開始。（明石海峡中央海域）〔第五管区海上保安本部〕
- 流動水質シミュレーションモデルを用いた粒子追跡システムを運用。〔神戸港湾空港技術調査事務所、神戸港湾事務所〕



淀川「わんど」クリーン大作戦



クリーンアップならキャンペーン



リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動



海洋環境整備船による浮遊ごみ・油の回収

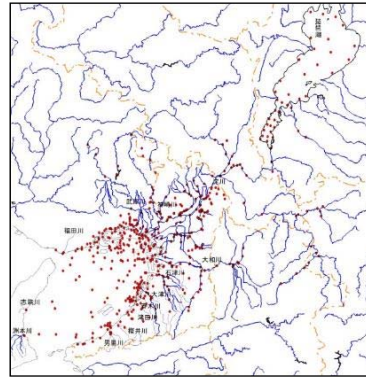
ごみ回収活動の実施状況



※リフレッシュ瀬戸内についてはブロック拠点の実施箇所のみを示している。

## 6. モニタリングの充実

- 大阪湾再生水質一斉調査を、36機関が516地点で実施。〔第五管区海上保安本部、神戸港湾事務所、自治体など〕
- 公共用水域における水質・底質等の調査を継続実施。〔国、各自治体など〕
- 大阪湾奥部における海水循環技術の確立のための実験計画を策定。〔神戸港湾空港技術調査事務所〕
- ごみの量や透視度等の新しい水質指標による調査を実施。〔近畿地方整備局〕
- 堺浜自然再生ふれあいビーチ〔堺市〕、廃棄物最終処分場周辺海域〔大阪湾広域臨海環境整備センター〕等でのモニタリング調査の実施。
- 巡視船艇、航空機による海洋汚染の監視、取締りを実施。〔第五管区海上保安本部〕
- 各調査結果をホームページ等で公開。〔国、各自治体など〕



大阪湾再生水質一斉調査の実施地点（516地点）



美しい「魚庭の海」に向けた  
取り組みの評価結果

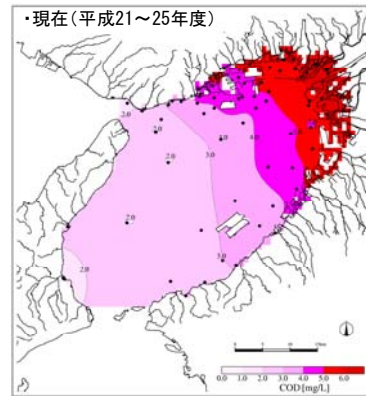
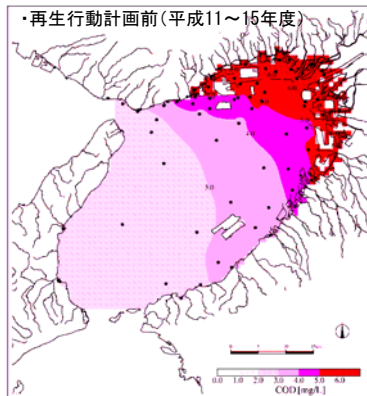


# 1. 表層COD

- 湾奥部：港湾区域周辺で、夏季には依然として快適な散策・展望の目安となる5mg/Lを超える海域がみられる。
- 湾口部、湾央部：夏季には3 mg/L以下を維持しているエリアが多くみられ、散策・展望の面からは概ね良好な水質を維持している。

⇒特に湾奥部において、今後とも取り組みを推進することが望まれる。

## ・夏季(6～8月)5年平均※



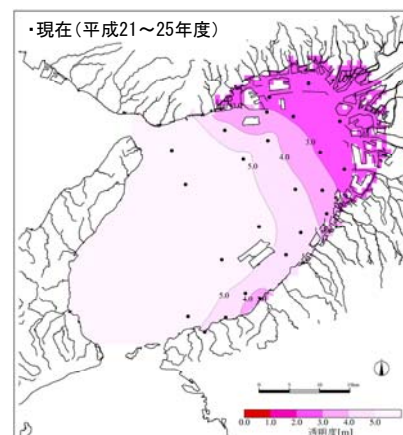
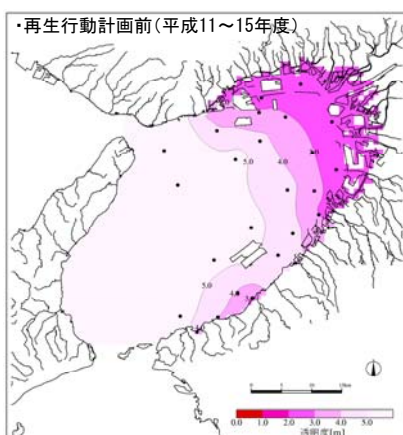
※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

資料) 公共用水域水質測定結果より作成

# 2. 透明度

- 湾央～湾奥部：夏季には大きな変動はみられず、2～3m程度の透明度が低い海域が多くみられる。
- 湾口部：夏季には大きな変動はみられず、5m以上の透明度が高い海域が多くみられる。

## ・夏季(6～8月)5年平均※

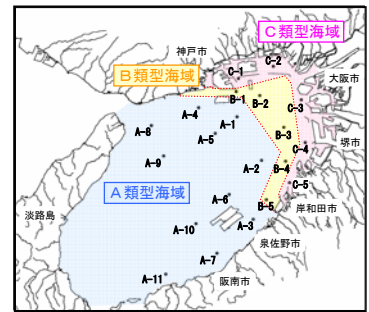


※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

資料) 公共用水域水質測定結果より作成

### 3. 窒素

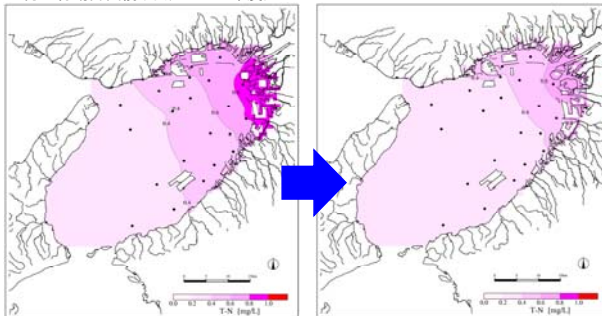
- 全窒素
  - ・湾央～湾奥部：減少傾向がみられる。
- 形態別窒素
  - ・無機態・有機態窒素とも低下傾向にあり、流入負荷量の多い湾奥部(C類型海域)で低下傾向が大きい。



#### ・全窒素 年間値5年平均※

・再生行動計画前(平成11～15年度)

・現在(平成21～25年度)

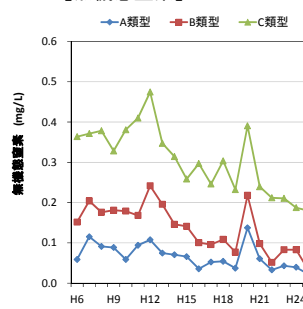


※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

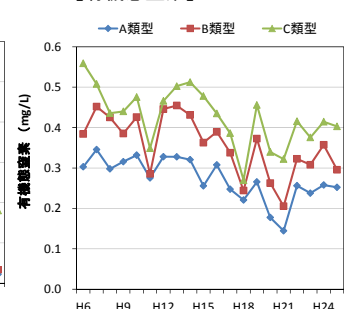
資料) 公共用水域水質測定結果より作成

#### ・形態別窒素の経年変化(年平均値)

【無機態窒素】



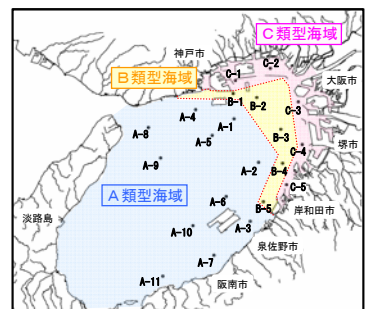
【有機態窒素】



資料) 大阪府公共用水域水質測定結果より作成

### 4. リン

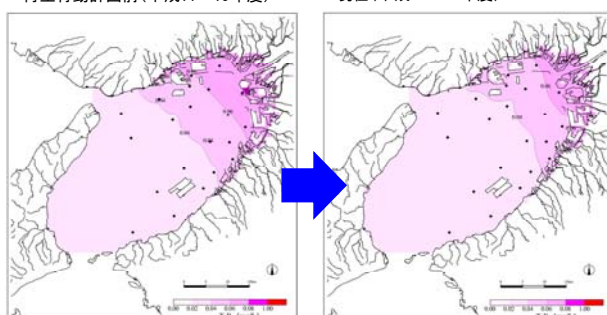
- 全リン
- ・湾央～湾奥部：減少傾向がみられる。
- 形態別リン
- ・無機態リンであるリン酸態リンは、平成12年頃から減少傾向がみられ、流入負荷量の多い湾奥部(C類型海域)で低下傾向が大きい。



#### ・全リン年間値5年平均※

・再生行動計画前(平成11～15年度)

・現在(平成21～25年度)

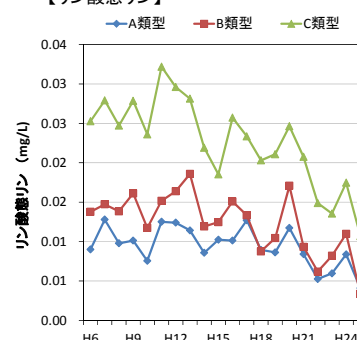


※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

資料) 公共用水域水質測定結果より作成

#### ・形態別リンの経年変化(年平均値)

【リン酸態リン】

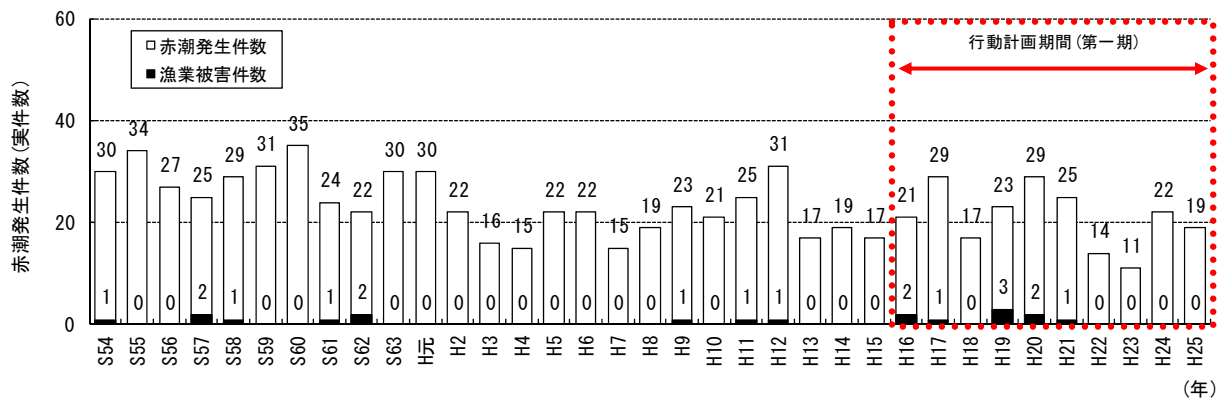


資料) 大阪府公共用水域水質測定結果より作成

## 5. 赤潮の発生状況

- 行動計画期間（第一期）中の赤潮発生数は11～29件の範囲で推移しており、年によって変動がみられる。
- 漁業被害件数は0～3件であり、直近の4年間では、漁業被害は確認されていない。

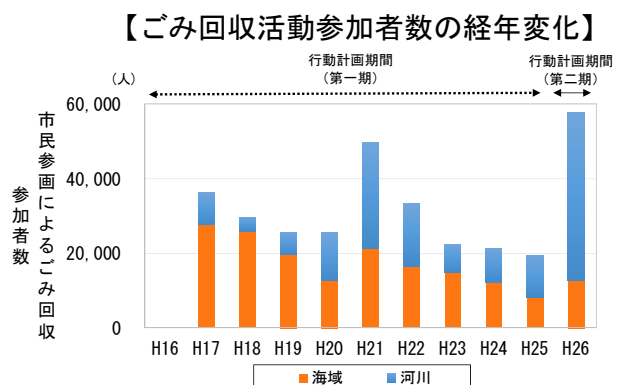
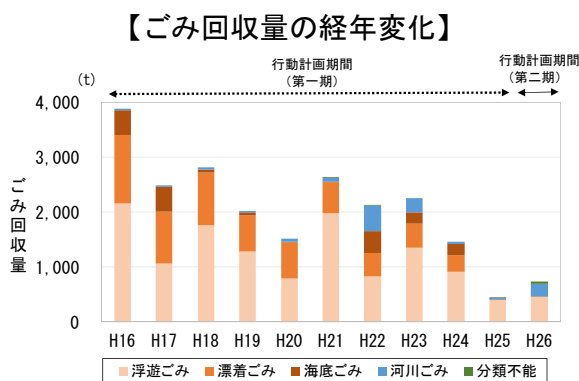
経年変化図（大阪湾における赤潮の発生件数）



## 6. ごみ回収量・回収活動参加者数

- ごみ回収量：730.8 t（平成26年度見込み）
- ごみ回収活動参加者数：57,766人（平成26年度見込み）

◆海域でのごみ回収量は減少傾向、参加者数は横ばいである。  
⇒海域における積極的なごみ回収活動の実施が望まれる。



※第二期計画（平成26年度以降）において、新たに集計対象とした施策がある。

# 親しみやすい「魚庭の海」に 向けた取り組みの状況

## 親しみやすい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その1）

### 取り組みの状況

#### 1. 砂浜、親水護岸等の整備

- 親水護岸を堺旧港で整備。

#### 2. 親水緑地等の整備

- 親水緑地をポートアイランド、尼崎臨海地域で整備。

#### 3. イベントの開催

- 「尼崎運河博覧会」等の水に親しめるイベント、「堺の海・再発見」等の環境学習会、「大阪湾フォーラム」等の多彩なイベントを開催。

#### 4. 市民や企業の取り組みへの参画促進、取り組みの支援

- 大学、企業等との連携による水質改善等の取り組みを実施。（尼崎運河、堺浜）





# 親しみやすい「魚庭の海」に向けた取り組みの状況(まとめ) (その2)

## 取り組みの評価結果

### 1. 砂浜・親水護岸・親水緑地の整備面積・延長

- 親水護岸の整備延長: 累積4.33km (0.08km増加)
- 親水緑地の整備面積: 累積66.1ha (9.1ha増加)

### 2. 訪問者数・実施活動数・参加者数

- 親水施設への訪問者数: 約88,641人
- イベントの開催数: 延べ295回
- イベントへの参加者数: 延べ約114,141人

## 取り組みの成果

- 親水施設の整備が進捗するとともに、親水施設で開催したイベントに多数の参加を得る等、一定の成果を得た。
- 今後とも、魅力的な親水施設の整備、多彩なイベントの実施、及び市民・企業等が積極的に参画できる取り組みの推進が望まれる。

## 1. 砂浜、親水護岸等の整備

- 堺旧港親水護岸の整備を継続実施。  
(0.08kmを新たに整備、進捗率:  
81%から83%に増加) [大阪府]
- 南海電車堺駅から堺旧港へのアク  
セスロードを整備。[堺市]



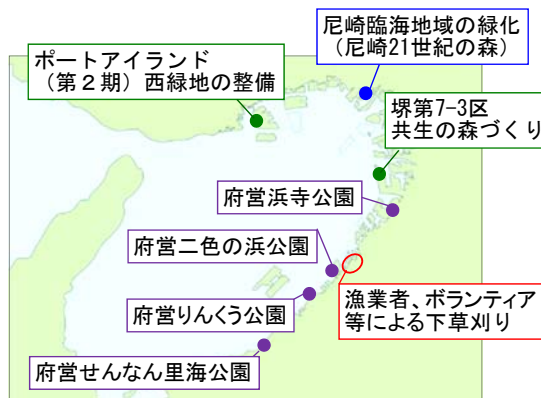
整備した親水護岸（堺旧港）



親水護岸の整備  
(堺旧港)

## 2. 親水緑地等の整備

- 尼崎臨海地域の緑化（尼崎21世紀の森）  
を継続実施。（8.1haを新たに整備、進  
捗率: 23%から51%に増加） [兵庫県]
- ポートアイランド（第2期）西緑地の  
整備を継続実施。（3.5ha整備中） [神  
戸市]
- 漁業者、ボランティア等による下草刈  
りを岸和田市で実施。[大阪府漁連]
- 堺第7-3区共生の森づくりによる植樹を継  
続実施。（1.0haを新たに整備）[大阪府]
- 府営公園の整備・管理を継続実施。  
[大阪府]

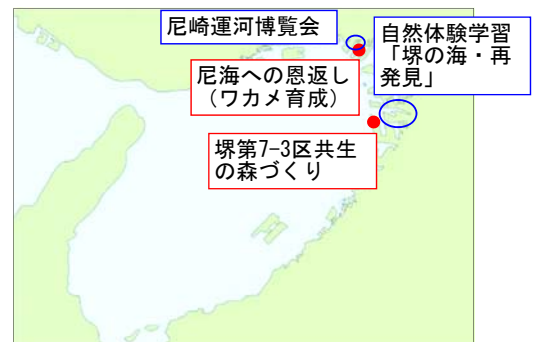


### 3. イベントの開催

- 堺エコロジー大学一般講座・自然体験学習「堺の海・再発見」で漁業操業の見学や生き物の観察等を実施。〔堺市〕
- 尼海への恩返し（ワカメ育成・堆肥化等を通じた環境循環の参加型活動）を実施。〔尼海への恩返し（尼海の会）、大阪湾広域臨海環境整備センター〕
- 大阪湾フォーラム〔神戸港湾空港技術調査事務所〕、海の教室〔(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所〕等のフォーラム、環境学習会等を継続実施。
- 魚庭の海づくり大会を開催し、府民約10,000人が参加。〔魚庭の海づくり実行委員会、大阪府〕
- 尼崎運河博覧会を開催し、市民約1,000人が参加。〔尼崎運河博覧会実行委員会〕
- 堺第7-3区共生の森づくりによる植樹を実施し、府民約600人参加（見込み）。〔大阪府〕



イベントの様子



### 4. 市民や企業の取り組みへの参画促進、取り組みの支援

- 企業連携による森づくりを継続実施。（堺第7-3区〔大阪府〕）
- フォーラム、環境学習会、出前授業等を継続実施。（マザーレイクフォーラム びわコミ会議〔滋賀県〕、みんなの浜辺調査〔兵庫県〕、小学校への出前授業〔堺市、神戸市〕等）
- 市町村や民間団体との情報共有を継続実施。（大和川清流復活ネットワーク〔奈良県〕）
- 大学等との連携による水質改善を継続実施。（尼崎運河〔徳島大学、尼崎市、兵庫県〕）
- 水質浄化実験の分析検証施設を本格稼働。（堺浜〔堺市〕）



水質浄化実験分析検証施設  
（堺浜）

# 親しみやすい「魚庭の海」に向けた取り組みの評価結果

## 1. 砂浜・親水護岸・親水緑地の整備面積・延長

### 【砂浜】

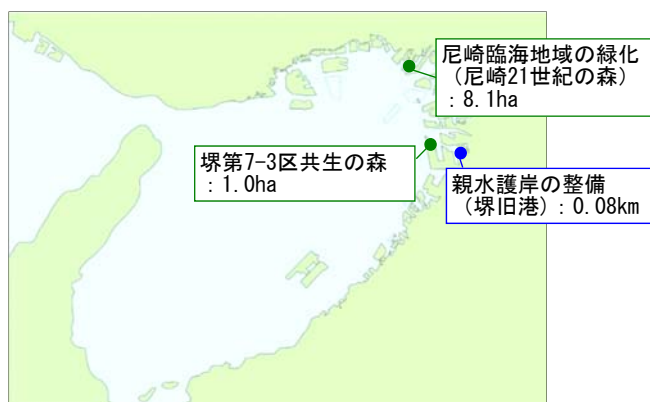
- 累積整備延長：0.2km

### 【親水護岸】

- 平成26年度整備完了見込み：0.08km
- 累積整備面積：4.33km

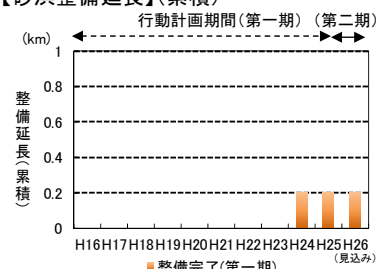
### 【親水緑地】

- 平成26年度整備完了見込み：9.1ha
- 累積整備面積：66.1ha

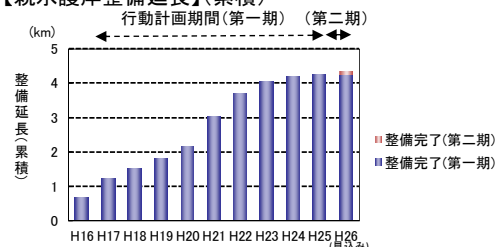


平成26年度の整備完了面積・延長

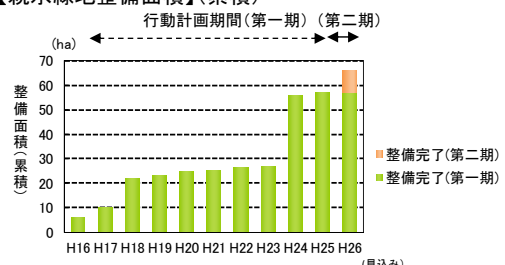
【砂浜整備延長】(累積)



【親水護岸整備延長】(累積)



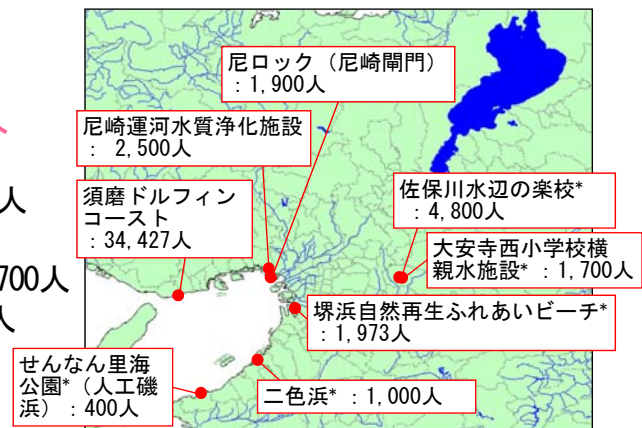
【親水緑地整備面積】(累積)



## 2. 訪問者数・イベント開催数・参加者数

### 【親水施設の状況】

- 親水施設訪問者数(見込み) : **88,641人**
  - ・ 須磨ドルフィンコースト : 34,427人
  - ・ 尼崎運河水質浄化施設(見込み) : 2,500人
  - ・ 佐保川水辺の楽校(見込み)\* : 4,800人
  - ・ 大安寺西小学校横親水施設(見込み)\* : 1,700人
  - ・ 堺浜自然再生ふれあいビーチ\* : 1,973人
  - ・ 二色の浜(見込み)\* : 1,000人
  - など

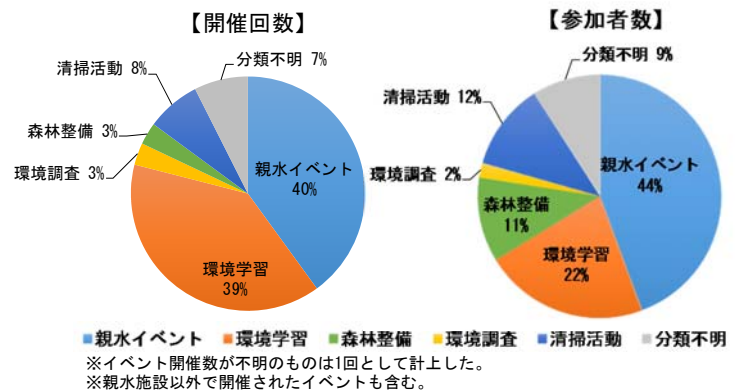


※訪問者数が不明な施設についてはイベントへの参加者数を計上

### 主な親水施設への訪問者数

### 【イベントの開催状況】

- イベント開催回数(見込み) : **295回**
- イベント参加者数(見込み) : **114,141人**
  - ・ 親水イベントが開催回数の40%、参加者数の44%を占めていた。



豊かな「魚庭の海」に  
向けた取り組みの状況



## 豊かな「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その1）

### 取り組みの状況

#### 1. 藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸等の整備

- 藻場の整備を泉南市地先海域で実施。
- 干潟の保全・再生事業を国指定浜甲子園鳥獣保護区で実施。

#### 2. 窪地の埋め戻し

- 阪南2区沖窪地の埋め戻しを実施。

#### 3. 漁場整備

- 藻類着生基質、攪拌ブロック礁を泉南市・岸和田市地先海域に設置。

#### 4. モニタリングの充実

- 大阪湾生き物一斉調査等、市民の参加を得ながら生物の生息状況のモニタリングを実施。
- その他、ため池の適正な維持保全と浅場への栄養塩供給を目的とした、ため池の池干し（かいぼり）を実施。



## 豊かな「魚庭の海」に向けた取り組みの状況（まとめ） （その2）

### 取り組みの評価結果

#### 1. 底層DO <5mg/L以上>※

- 湾奥部：夏季に4mg/L未満の海域がみられる。
- 湾口部～湾央部：夏季に概ね5mg/L以上。

#### 2. 底生生物（種類数・個体数）

- 湾奥部：種類数が少ない。
- 湾口部～湾央部：種類数の増加がみられる。

#### 3. 海岸生物

- 大阪湾生き物一斉調査において、590種（うち、貴重種74種）を確認。

#### 4. 藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸の整備面積・延長

- 藻場の整備面積：累積40.1ha（0.8ha増加）

※ <>内は評価指標値の目安



### 取り組みの成果

- 湾奥部では、依然として貧酸素状態がみられ、底生生物の種類数も少ないため、今後のさらなる取り組み推進が必要である。
- 湾口部・湾央部では、生物生息に十分な底層DOが確保されている海域が多く、底生生物の種類数についても改善傾向がみられるものの、さらなる取り組み推進が望ましい。

# 1. 藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸等の整備

- 藻場の整備を継続実施。（増殖場造成事業[大阪府]）
- 人工干潟の整備を継続実施。（堺2区[大阪府]）
- 干潟の保全・再生のための土留め施設を設置。（国指定浜甲子園鳥獣保護区保全事業[環境省近畿地方環境事務所]）
- 緩傾斜護岸の整備を継続実施。（新島[近畿地方整備局]）
- 緩傾斜護岸等のモニタリング調査を継続実施。（新島[大阪湾広域臨海環境整備センター]、ポートアイランド2期西側護岸及び空港島緩傾斜護岸[神戸市]、堺2区生物共生型護岸[神戸港湾空港技術調査事務所]）
- サワラ等の種苗の放流を実施。（関西国際空港島周辺海域[大阪府]）



干潟の保全・再生事業実施箇所  
（国指定浜甲子園鳥獣保護区）



整備された緩傾斜護岸（新島）



## 2. 窪地の埋め戻し

- 阪南2区沖窪地の埋め戻しを継続実施。[近畿地方整備局]



窪地の埋め戻しの状況  
（阪南2区沖窪地）

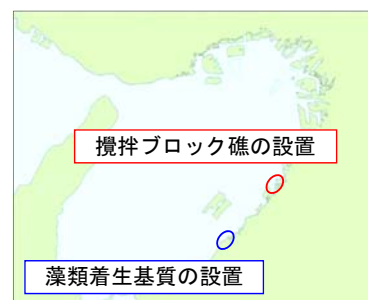


## 3. 漁場整備

- 泉南市地先海域（樽井・岡田浦）において、藻類着生基質を設置。[大阪府]
- 岸和田市地先において、攪拌ブロック礁を設置。[大阪府]



設置された藻類着生基質  
（泉南市地先海域）

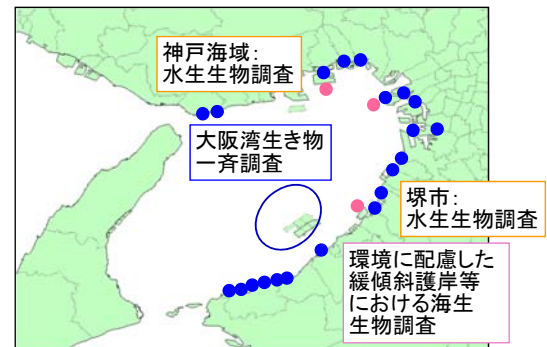


## 4. モニタリングの充実

- 大阪湾生き物一斉調査を22地域で1,244人が参加して実施。〔大阪湾環境再生連絡会〕
- 公共用水域における底生生物・漁場環境等の調査を継続実施。〔(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所、兵庫県〕
- 赤潮予察調査を10地点で継続実施。〔兵庫県〕
- 水生生物調査（堺市内河川、神戸海域）を継続実施。〔堺市、神戸市〕
- 環境に配慮した緩傾斜護岸等における海生生物調査で付着動植物、遊泳魚、藻場分布について調査を実施。〔大阪湾広域臨界環境整備センター〕
- 堺2区人工干潟、阪南4区人工干潟の生物調査を実施。〔大阪府〕
- 漁場環境情報システムで水温等の環境情報を毎日提供。〔兵庫県〕
- 瀬戸内海の赤潮発生情報の公表・発信を継続実施。〔瀬戸内海漁業調整事務所〕
- その他、ため池の適正な維持保全と浅場への栄養塩供給を目的とした、ため池の池干し（かいぼり）を実施（3箇所）。〔漁業者組織（淡路市）〕



大阪湾生き物一斉調査



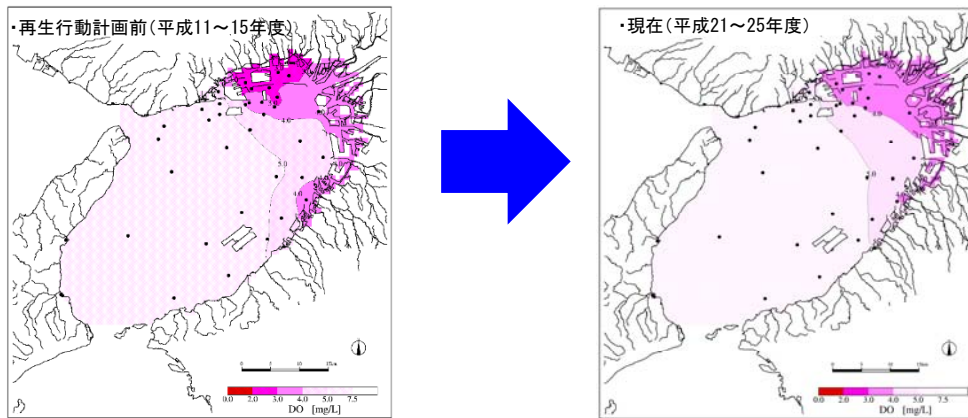
豊かな「魚庭の海」に  
向けた取り組みの評価結果

# 1. 底層DO

- 湾奥部：夏季は依然として4mg/L未満の海域がみられ、貧酸素状態となっている海域がみられる。
- 湾口部、湾央部：夏季においても生物生息に十分な5mg/L以上を概ね維持している。

⇒特に湾奥部において、今後とも取り組みを推進することが必要である。

- ・ 夏季(6～8月)5年平均※

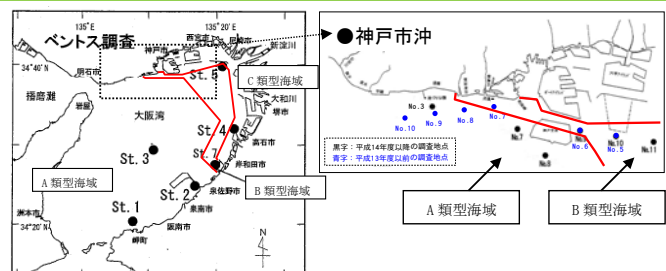


※水質データは年変動が大きいことから5年平均値を採用。水平分布図は限られた測定箇所の水質データを基に作成しており、水質分布の傾向を示したものである。

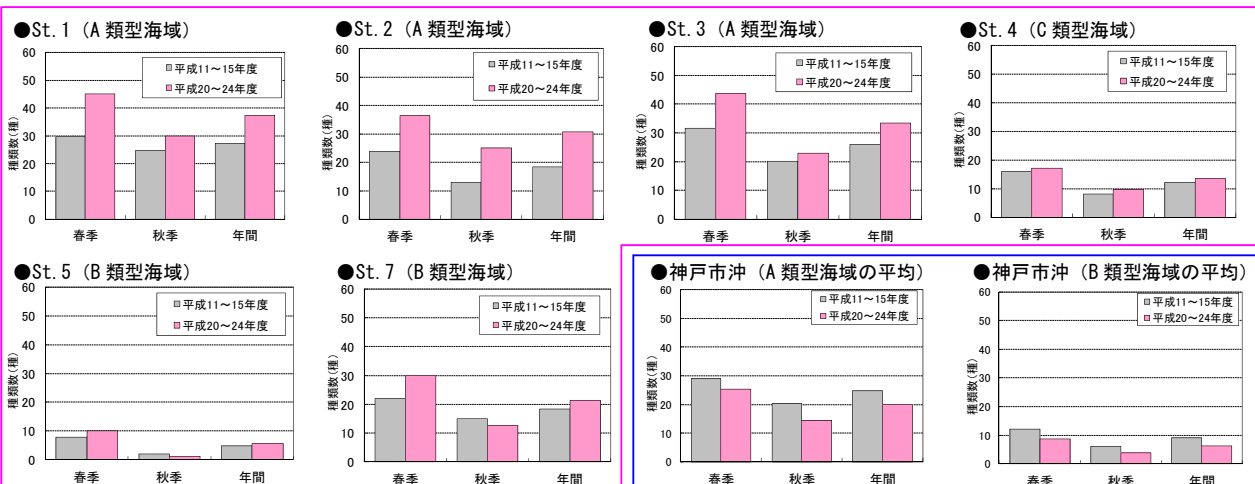
資料) 公共用水域水質測定結果より作成

## 2. 底生生物(種類数)

- 湾奥部(B・C類型海域)で少なく、湾央～湾口部(A類型海域)で多い。
- 行動計画前と比較すると、湾央～湾口部(A類型海域)では種類数の増加がみられる。



- ・ 変化図(底生生物・種類数)



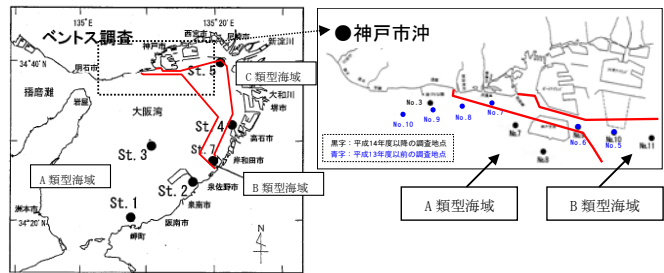
資料) 漁場環境調査 生物モニタリング調査(大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター 環境水質 海域の水生生物調査(神戸市環境局))

※神戸市沖：約0.1～0.12m(H21は約0.15m)当たりの種類数、大阪府域：0.1m当たりの種類数

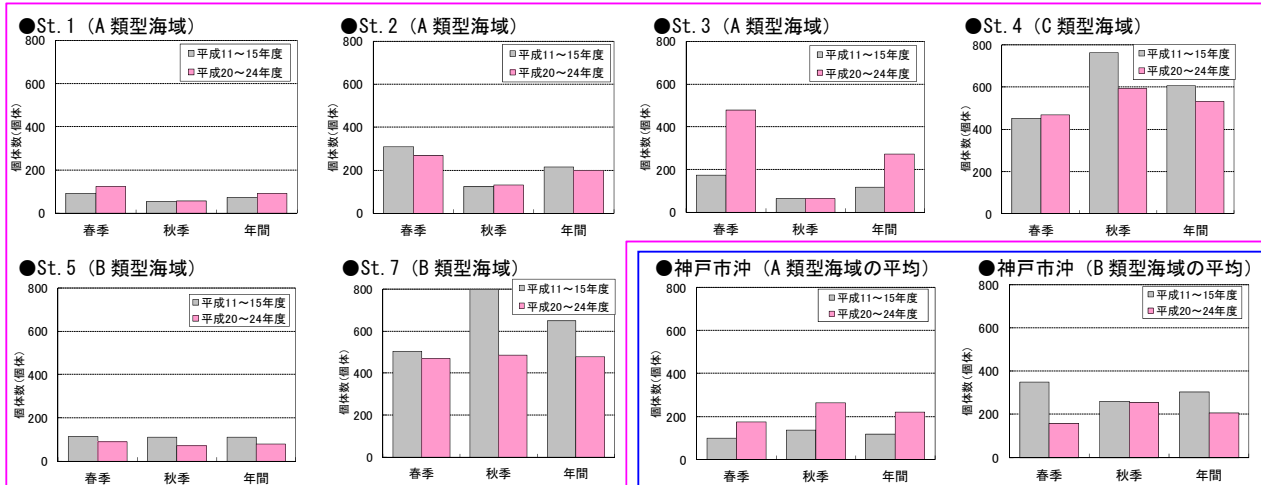


## 2. 底生生物(個体数)

- 湾奥部(B・C類型海域)の東側の岸近くの地点で個体数が多い。
- 行動計画前と比較すると、湾央～湾口部では横ばいまたは増加傾向がみられる。



### ・変化図(底生生物・個体数)

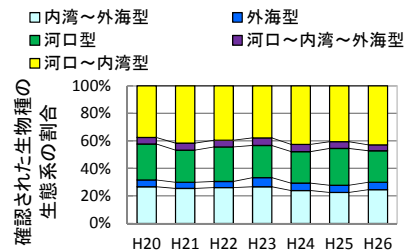
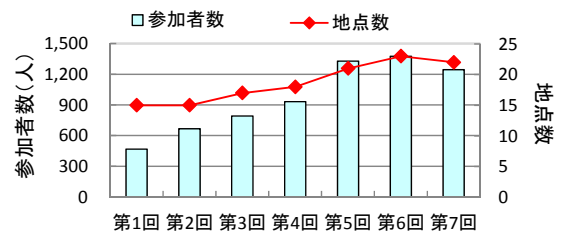


資料) 漁場環境調査 生物モニタリング調査(大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター 環境水質 海域の水生生物調査(神戸市環境局))

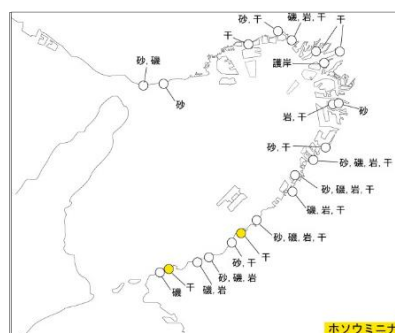
※神戸市沖: 約0.1~0.12m(H21は約0.15m)当たりの種類数、大阪府域: 0.1m当たりの種類数

## 3. 海岸生物

- 大阪湾生き物一斉調査を、22地点で、1,244名が参加して実施。
- 確認した生物は590種(水生生物群375種、陸生生物群215種)、貴重種は74種。
- 調査シートに掲載している種については、河口～内海型の生物がやや増加し、河口型の生物がやや減少。
- 調査テーマ「巻き貝」については、ウミナを21地点中7地点、ホソウミナを2地点で確認。



注) 第1～7回調査の全てを実施した地点の値



## 4. 藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸の整備面積・延長

### 【藻場】

- 平成26年度整備完了見込み：0.8ha
- 累積整備面積：40.1ha

### 【干潟】

- 干潟の保全・再生のための土留め施設の累積整備延長：約517.5m

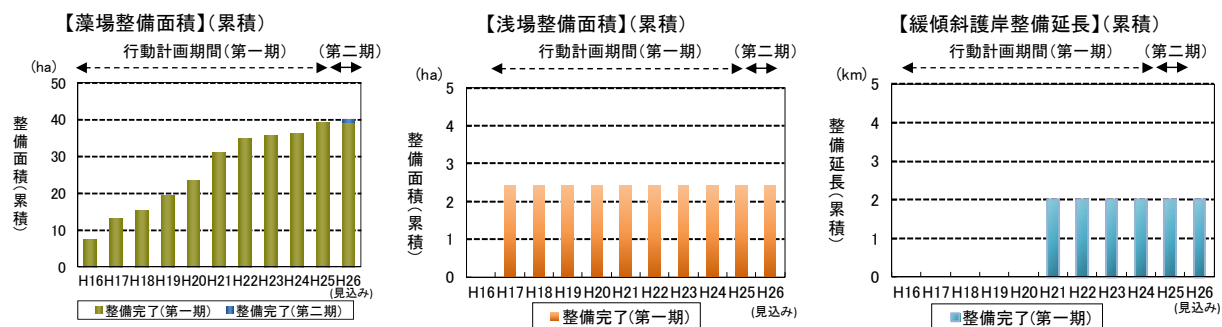
### 【浅場】

- 累積整備面積：2.4ha

### 【緩傾斜護岸】

- 累積整備延長：2.0km

平成26年度の整備完了面積・延長



## Ⅱ 重点的な取り組みの成果

# 1. 戦略的な広報活動(その1)

- イベントカレンダーによる情報発信・共有化(相互リンク付け)
  - ・ 大阪湾再生推進協議会のホームページ上において、各構成機関等が実施するイベント等を集約し、55件のイベント等の情報を発信(1月16日現在)。

＜大阪湾再生行動計画(第二期)イベントカレンダー＞



- 公共性の高い場所へのパンフレット等の常設
  - ・ 大阪市立自然史博物館をはじめ、大阪湾周辺の博物館・水族館にパンフレットの常設を依頼し、設置した。

# 1. 戦略的な広報活動(その2)

- 児童・生徒・学生を対象とした説明資料の作成
  - ・ 中学生を対象として作成したリーフレット「大阪湾再生の取り組み」を尼崎市立南武庫之荘中学校で試行的に掲示し、内容についてのアンケートを実施。
  - ・ 第8回近畿「子どもの水辺」交流会(1/24開催)において同リーフレットを配布。

＜リーフレット＞



## 2. 学校教育等との連携(その1)

### ●教育現場のニーズに対応した環境学習会等の検討

- ・教育現場のニーズについて、教育関係者・学識者へのヒアリングを実施し、課題の把握に努めた(先進的な取り組みを推進している関係者を対象とした)。

### ●教育関係者との意見交換会

- ・環境教育に従事している関係者との意見交換会を開催した(先進的な取り組みを推進している関係者を対象とした)。

#### 主な意見

- ・環境教育は、地域特性に応じ、オーダーメイド型で取り組むことが重要である。
- ・環境教育に関心のある先生方のネットワークを繋げていくと良いのではないか。
- ・学校教育等との連携が大阪湾再生にどのようにつながるか、関連付けた上で教育関係者にアプローチしていくことが必要である。
- ・活動を通じて子供たちが気づいたことを大阪湾再生と結びつけて説明することで、関心を持ちやすくなる。

### ●「学校教育との連携」事例の情報共有

- ・第1回合同会議(9/17開催)において、構成機関間で「学校教育との連携」事例等の情報共有を行った。

## 2. 学校教育等との連携(その2)

### ●環境学習会、施設見学を利用したPR

- ・各構成機関に依頼し、環境学習会、施設見学を利用したPRを実施した。

#### 出前講座、体験学習、施設見学における説明の内容

##### 【陸域】

- ・水循環を説明し、自分たちの地域の川をキレイにすることで、下流の川、海(大阪湾)もキレイになっていくことを説明した。また、降った雨水を森林や土壌が貯留し、浄化されて下流の河川に流れ海へと注ぐため、森林の整備により水を育み、ひいては海(大阪湾)の再生に寄与することを説明した。

##### 【海域】

- ・人と大阪湾の繋りや、砂浜や干潟の消失により海的环境がどのように変化したかを説明した。また、大阪湾の環境の改善策を考えるよう促し、具体例として大阪湾再生行動計画の施策等について説明した。

#### セミナー、発表会における説明の内容

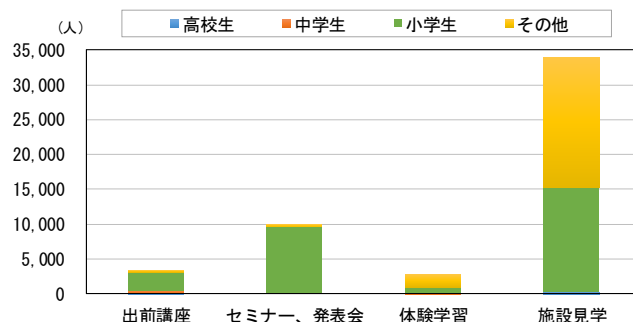
##### 【陸域および海域】

- ・大阪湾再生の取り組みのパネル展示や大阪湾再生行動計画のリーフレットを配布することで、大阪湾再生行動計画についてPRした。



## 2. 学校教育等との連携（その3）

＜PRを実施した環境学習会、施設見学等への参加者数＞



### 連携事例

滋賀県では全国に先駆けて、琵琶湖の富栄養化の原因となる窒素、リンの排出規制等を定めた「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」（琵琶湖条例）を1980年（昭和55年）に施行。その翌年、琵琶湖条例の施行1周年を記念して、7月1日を「びわ湖の日」と定めた。

毎年「びわ湖の日」の前後の期間、琵琶湖に関わってもらうことを目的に様々な事業を展開している。その一つとして、琵琶湖疏水のほとりにある京都市の私立東山中学校・高等学校で出張出前講座を実施。上流は下流の川・海（大阪湾）を思い、下流は上流に感謝する飲水思源の気持ちを共有するきっかけづくりとした。

《実施内容》

- 「外来魚の解剖」を全生徒が体験
- 琵琶湖の「歴史」「プランクトン」等の授業
- 学芸員が移動博物館展示キットを用いて解説 等



普段の授業では体験できない外来魚の解剖



琵琶湖の歴史について学びました

## 3. 新たな主体への働きかけ

### ●国際ロータリー第2660地区への働きかけ

- ・第1回社会奉仕委員長会議（8/9）において出前講座を実施。
- ・第39回万博吹田カメの子駅伝大会（吹田ロータリークラブ主催、12/21）において、パネル展示、パンフレット配布を実施。

＜出前講座の実施状況＞



＜パネルの展示状況＞



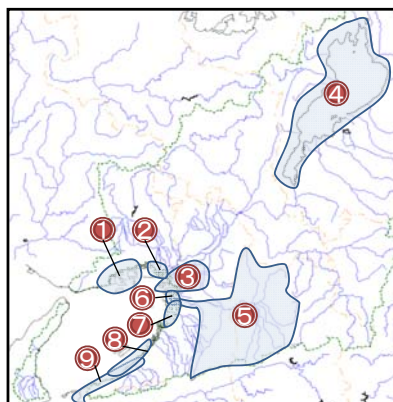
- ・ロータリークラブの社会奉仕活動と大阪湾再生の取り組みとのマッチングを図った。

⇒河川清掃（大和川・石川クリーン作戦）を連携して実施する等、徐々に連携が進んでいる。

# Ⅲ アピールポイントでの活動状況

## 1. アピールポイントの施設・イベント

### ●各アピールポイント毎の親水施設・イベントの開催状況

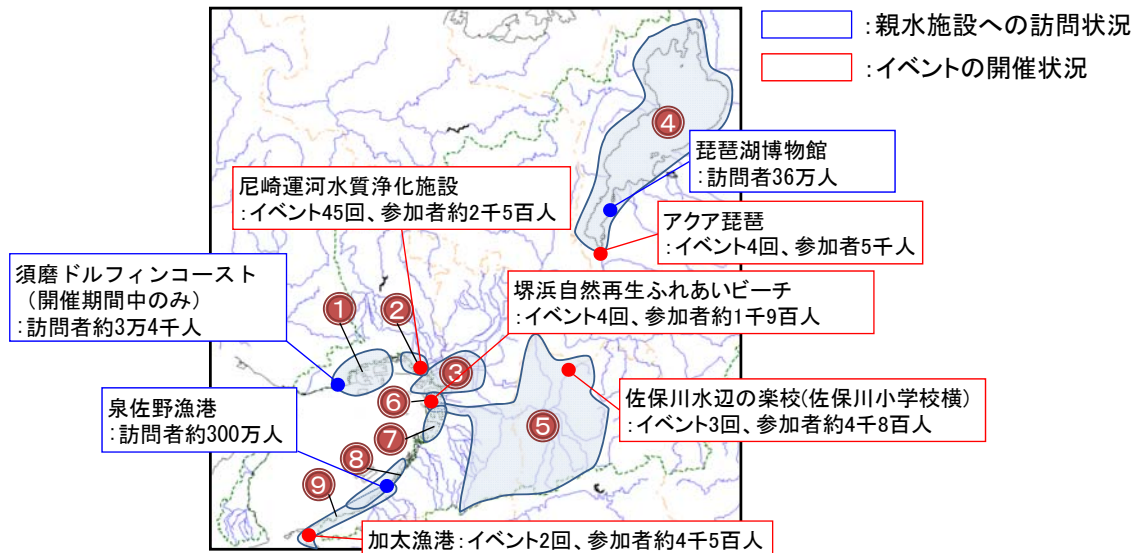


| アピールポイント                   | アピールポイントに含まれるエリア                      | 含まれる親水施設                                                         | イベントの開催状況                                                                                                        |
|----------------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 潮風かおる港町神戸                | 須磨海岸、兵庫運河、ハーバーランド～HAT神戸、ポートアイランド、神戸空港 | 須磨海岸、須磨ドルフィンコースト、神戸空港人工海水池など                                     | なぎさ海遊ウォーク、須磨ドルフィンコーストプロジェクト2014、ウミガメエコツーリズムなど                                                                    |
| ② 水に親しみ学べる尼崎・西宮の海辺         | 尼崎運河周辺、甲子園浜周辺                         | 水質浄化施設、尼ロック（尼崎閘門）防災展示室、県立甲子園浜海浜公園など                              | 環境学習会（尼崎運河）、尼崎運河博覧会、尼ロック・防災特別展、尼海への恩返し（のびのび公園）、大阪湾生き物一斉調査など                                                      |
| ③ まちなかで水に親しめる水都大阪の水辺・海辺    | 中之島、舞洲～夢洲、新島、咲洲                       | 中之島公園、人工磯、野島臨海緑地                                                 | 大阪マラソン、遊覧船、橋のライトアップ                                                                                              |
| ④ 豊かな自然と歴史を感じられる琵琶湖        | 琵琶湖                                   | アクア琵琶、琵琶湖博物館など                                                   | 「水辺の匠」イベント、観覧会、見学会、博物館で楽しもう、各種講座、体験教室、わくわく探検隊など                                                                  |
| ⑤ 市民が参加した川づくりが進む大和川        | 大和川流域（大和川本川・支川）                       | 一級河川大和川左岸・大和川西青少年運動広場、佐保川水辺の楽校（佐保川小学校横）、大安寺西小学校横親水施設、佐保川（佐保地区）など | 河川環境学習会、小学生による清掃活動、わいわい桜祭り、水辺のコンサート、川辺のまちづくり、地域住民による清掃活動、大和川一斉清掃、大和川クリーンキャンペーン、大和川・石川クリーン作戦、「奈良県山の日・川の日」河川清掃デーなど |
| ⑥ 海に親しめる多様な場がある堺の海辺        | 堺浜、堺旧港                                | 堺浜自然再生ふれあいビーチなど                                                  | 堺浜ふれあいビーチで遊ぼう！、水質浄化実験設備説明会、堺浜自然再生ふれあいビーチ清掃活動など                                                                   |
| ⑦ 海の恵みを楽しめる堺・高石の漁港         | 堺（出島）漁港、高石漁港                          | 堺（出島）漁港、高石漁港                                                     | 自然体験学習「堺の海・再発見」など                                                                                                |
| ⑧ 海水浴やマリンスポーツが楽しめる阪南・泉南の海岸 | 二色の浜、せんなん里海公園                         | 二色の浜海水浴場、海浜緑地（ジャリ浜）、人工磯浜、箱作海水浴場、淡輪海水浴場など                         | 府民・ボランティアによる海岸美化運動、淡輪箱作海岸・磯浜見学会など                                                                                |
| ⑨ 海の恵みを楽しめる泉南の漁港           | 佐野漁港、田尻漁港、岡田浦漁港、深日漁港、小島漁港、加太漁港        | 佐野漁港、田尻漁港、岡田浦漁港、深日漁港、小島漁港、とつとパーク小島（釣り公園）、加太漁港                    | 泉佐野青空市場、第11回りんくうタコカーニバル、岡田浦日曜青空朝市、第4回深日漁港ふれあいフェスタ、桜鯛祭り、紅葉鯛祭りなど                                                   |

## 2. アピールポイントの訪問者数

- アピールポイントへの訪問者数は延べ約345万9千人(見込み)であった。
  - アピールポイントに含まれる親水施設では、環境学習会、親水イベント、清掃活動等のイベントを158回(見込み)開催し、参加者数は、延べ約3万6千人(見込み)であった。
  - 自然体験学習「堺の海・再発見」では、参加者より『船上学習は貴重な体験だった。』『大阪湾が美しくなったと感じた。』等の感想があった。
- ⇒今後、親水施設への訪問者数やイベント参加者数の拡大、満足度の向上を目指すとともに、これらの状況のチェックを行う。

<主な親水施設への訪問状況、イベントの開催状況>



平成27年度においても引き続き、  
目標達成に向けた取り組みを着実に  
推進する。

